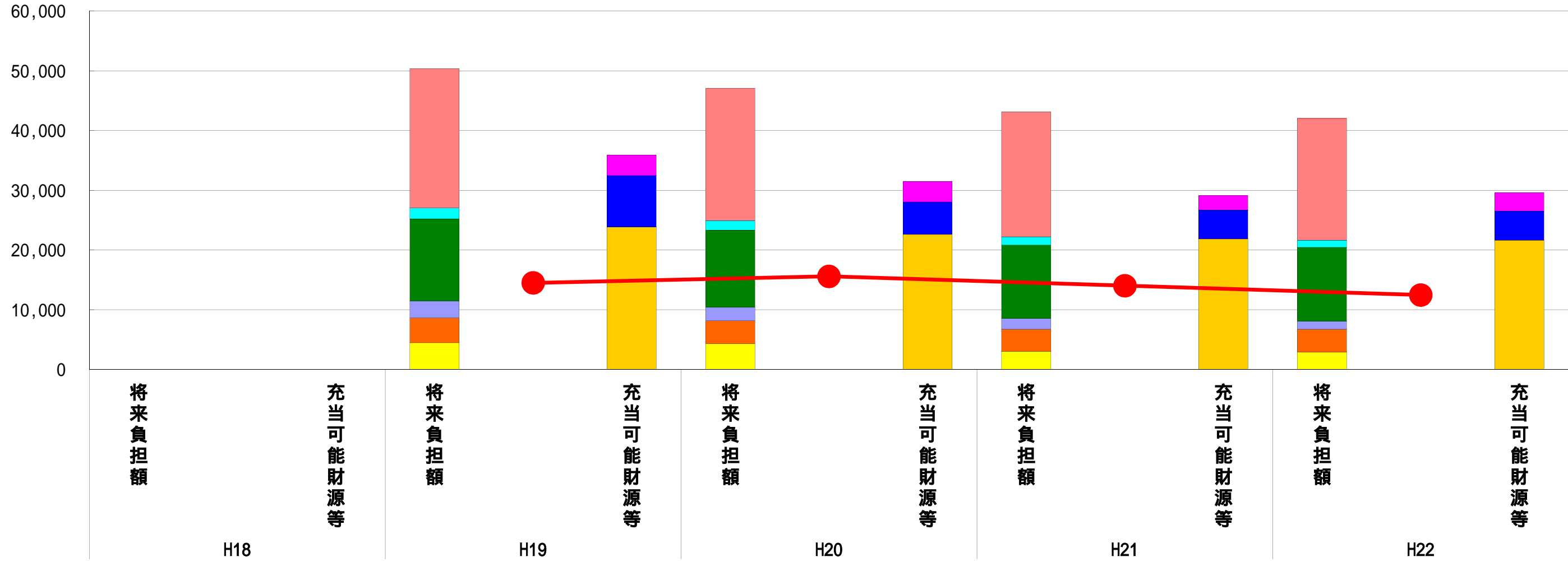


(8) 将来負担比率(分子)の構造(市町村)

平成22年度

岡山県笠岡市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高	-	-	23,309	22,157	20,929	20,384
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	-	1,854	1,569	1,345	1,218
	公営企業債等繰入見込額	-	-	13,732	12,888	12,333	12,339
	組合等負担等見込額	-	-	2,849	2,244	1,793	1,381
	退職手当負担見込額	-	-	4,162	3,874	3,719	3,812
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	4,465	4,317	3,010	2,893
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金	-	-	3,426	3,426	2,414	3,092
	充当可能特定歳入	-	-	8,628	5,394	4,827	4,876
	基準財政需要額算入見込額	-	-	23,828	22,639	21,853	21,599
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	-	14,490	15,590	14,035	12,461

分析欄

・市債借入額の抑制や補償金免除繰上償還の効果で一般会計の地方債現在高は毎年着実に減少している。

・公営企業債等への繰入見込額については、平成22年度でわずかに増額しているが、傾向としては減少しており、平成23年度以降は減額となる見通しである。

・分子の額については、平成20年度が高い額となっているが、これが充当可能特定収入(都市計画税)の考え方が前年度と変わったことにより、増額したのが要因で、実質的には着実に減額傾向となっている。

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。